



みなさん「もしばなゲーム」を知っていますか？「もしも自分が不治の病になり、余命が1ヶ月だったら」というどこかで経験するかもしれない設定の中、自分がどうしていきたいか、についてカードゲームを通して学び取り組みです。11月に院内で開催された「もしばなゲーム」に参加してきました。普段あまり話しをしたことがない参加者のみなさまと3～4人ずつのグループワークになるので、適度な緊張感もあり、また自分の価値観を言葉にしてアウトプットすることにより、考えを整理するきっかけにもなります。参加者の中には、毎年エンディングノートを家族と見直している方、去年参加した時とは、選んだカードが変わっていたという方もいました。私も家に帰って「もしばなゲーム」について子どもたちに話をしました。中学生の長男が、「自分がいなくなったあとで、もめないようお金のことは先に相談しておく」と言っていて、子供なりに家族に迷惑をかけたくないと考えている様子が反抗期の中でも成長がみえうれしく思いました。会の最後に佐野先生からお話がありました。その中で心にしみた言葉は、「人の気持ちは変わるもの」です。一度決めたらそれを突き通す事以上に、自分の正直な気持ちに従って選択したことを見直していくこと、その過程を大切にしていけたらと思います。来年度も開催予定です。是非みなさんも参加してくださいね。

緩和ケア私の仕事

社会福祉士

水本留美子



私たち、「ソーシャルワーカー」です。患者様、ご家族様の抱える、身体的精神的な問題や経済的な問題について、社会保障制度を活用しながら、院内外の様々な支援担当者と連携を図り、問題解決にむけて取り組んでいます。



緩和ケア病棟をご利用される、患者様、ご家族様の抱える課題についても、その思いがちなよう、多職種と協働しながら支援できればと考えています。又、私たち自身も、1人の生活者の視点を忘れず、日々の暮らしをよくする活動、運動や支援も行っています。何かご不明な点がございましたら、埼玉協同病院1階総合サポートセンターにお越し下さい。よろしくお願い致します。

健康まつり参加報告

去る11月23日に健康まつり2025が盛大に開催され、緩和ケア病棟は病棟見学会と坂本商店の2つの企画で参加しました。病棟見学には20名の申し込みがあり、過去にご利用された患者様のご家族など嬉しい再会もありました。ご自身やご家族が、がんを経験された方もいらっしゃる、緊張したご様子もありましたが、明るい病棟の雰囲気や広々としたテラスガーデンなどに自然と笑顔がこぼれ、私たちもほっとしました。デイルームでの懇談ではたくさんの質問をいただき、関心の高さを感じました。また、坂本商店では日用品から病棟スタッフの手芸品、自宅で育てた観葉植物など、デイリーヤマザキに負けない豊富な品揃えで出店し、お客さまに緩和ケア病棟の紹介もさせていただきました。

※見学会の様子は、「緩和ケア.NET」ホームページからホスピス

緩和ケア週間の活動報告としても掲載されています。

テラス新聞写真
コンテスト開催

1/16～1/23の期間に、「冬・ほっこり」をテーマに身近な写真をスタッフや緩和病棟入院患者様やご家族から応募します。応募作品の中から、編集部の方から、優秀作品を複数選出したいと考えています。参加お待ちしております。

埼玉協同病院東5階緩和ケア病棟のホームページは

こちらからもご覧になれます。



今後のイベント予定

- ・12/23
- ・1/16～1/23

緩和ケア病棟クリスマス会
テラス新聞写真コンテスト

緩和ケア・テラス新聞⑥

埼玉協同病院東5病棟

12月号

